

2026年度 実務経験のある教員による授業科目 建築・環境デザイン学科

学科共通科目						
科目名	単位数	配当年次	担当教員名	期間 曜日 時限	どのような実務経験をもとに、どのような授業を行うか	備考
インテリアデザイン論	2	2	松田 奈緒子	前期 月曜日 2時限	製造業技術者（住宅設計／企画・調査）5年、公的機関コンサルタント技術者2年の実務経験を活かし、実践につながる教育を目指します。	
デジタルプレゼンテーション論	2	1	疋田 訓之	前期 月曜日 4時限	建築実務設計25年 実務に必要なコンピューターリテラシーについて、経験に照らし合わせてより実践的な指導をします。	
建築環境工学	2	2	藤長 愛一郎	後期 月曜日 4時限	建設業技術者（環境技術開発）12年：環境技術に関する建設技術者の実務経験で得た、建設工事の環境への配慮し、建築環境工学の基礎であるこの科目が、実務にも役立つことを学生に認識できるようにする。	
建築設備工学	2	2	山崎 政人	後期 火曜日 3時限	建築設備・エネルギー分野のコンサルタントとしての実務経験（31年間）を生かし、建築デザイナーに必要な建築環境、建築設備、エネルギーシステムの知識を修得してもらいます。	
建築意匠材料論	2	3	加藤 正浩	前期 木曜日 1時限	建築実務設計25年余り 実務設計で行っている基本設計、実施設計、監理の経験から、デザインを構想する上でのテクニク的思考方法について伝達します。	
建築構法	2	2	疋田 訓之 北守 顕久 山田 宏 和多田 遼	前期 木曜日 4時限	疋田訓之：建築実務設計25年、建築実務設計の経験を活かして、実践的な制作における根幹となる建築のテクニク（部材の選択と納まり）のエッセンスを指導します。 山田宏：セメントメーカー7.6年、地方公務員（土木建築行政一般）3.4年の経験を活かして、コンクリート材料の実像を指導します。 和多田遼：構造設計技術者：10年（一級建築士，構造設計一級建築士） 実務経験を生かし、理論と実務の両側面を意識した教育を行う。	
デザインマテリアル論	2	2	堤 展子	後期 木曜日 4時限	アーティストとしての経験20年以上。陶芸以外にも多様な素材を扱った実績を有する。	
構造材料学	2	3	加藤 正浩	後期 木曜日 4時限	建築実務設計25年余り 実務設計における、基本設計、実施設計や監理の経験から、基礎的な知識と実際の業務の関係と注意点等を伝達します。	
建築論	2	3	疋田 訓之	前期 木曜日 5時限	建築実務設計25年 建築実務設計の経験を活かして、実践的な制作における根幹となる通時的な理論的概念のエッセンスを指導します。	

【単位数合計】18単位